

おじちゃん

なんだよ小僧

監督・脚本・編集：北野武

初夏の夏

北野武が初めて挑む笑いと感動のロードムービー

キャスト：ビートたけし、関口雄介、津本和世子、吉行和子
制作：バンダイビジュアル・TOKYO FM、日本ヘラルド映画 / オフィス北野 配給：日本ヘラルド映画・オフィス北野 音楽監督：久石 譲（サウンス・トラック・プロジェクト）プロデューサー：森島行・若田多喜男、ラインプロデューサー：小宮慎二、協力プロデューサー：飯上直行・古川一博・川城和実
撮影：堀島克巳 照明：高屋 要 美術：横田典史 録音：堀内純治 編集：太田真剛 記録：中田秀子 助監督：清水浩 キャスティング：菅川威史 製作担当：山本章 ©1999 GSC

1999年初夏ロードショー

ふたりの夏休みがやって来る



明日から楽しい夏休み。でも正男（関口雄介）には宿題を見てくれたり、どこかに遊びに連れていってくれる人もいない。たったひとりの家族であるおばあちゃんは仕事で忙しい。そこで正男は写真でしか見たことのないお母さんに会いに行くことを決心、お小遣いを握り締めて家を飛び出す。心配した近所のおばさんは旦那（ビートたけし）に、正男を母親の元まで送り届けるように命令する。そんなこんなで始まったふたりの珍道中！どんなことになるのやら…。



一作ごとに新たな境地を切り開き、「HANA-BI」でベネチア映画祭グランプリに輝いた監督北野武が贈る夏休み。誰にでもある思い出の絵日記を、浅草、浜松、天竜川といった日本の美しい風景とともに、久石 譲の透明な音の調べに乗せて笑いと涙たっぷりに描く。主演はもちろんビートたけし。暇をもてあますあまり正男の相棒となって仕方なく旅をと



にするはめになる、浅草のしがいない中年をユーモアと優しさをこめて演じている。そして母に会いたい一心で家を飛び出す少年正男役は、現在9歳の元気な小学生関口雄介。旅の中で、少しずつ現実の厳しさと人々の優しさに触れたくましく成長していく様子をのびのびと好演している。世界の北野武という緊張感漂うイメージからは少し離れたところにある、この温かな眼差しと緩やかな時間の中で、観るものを懐かしく、優しい気持ちにさせてくれる。

北野武監督最新作

菊次郎の夏

99年初夏、全国松竹・東急洋画系にてロードショー!